

ちよつと昔の 道具たち

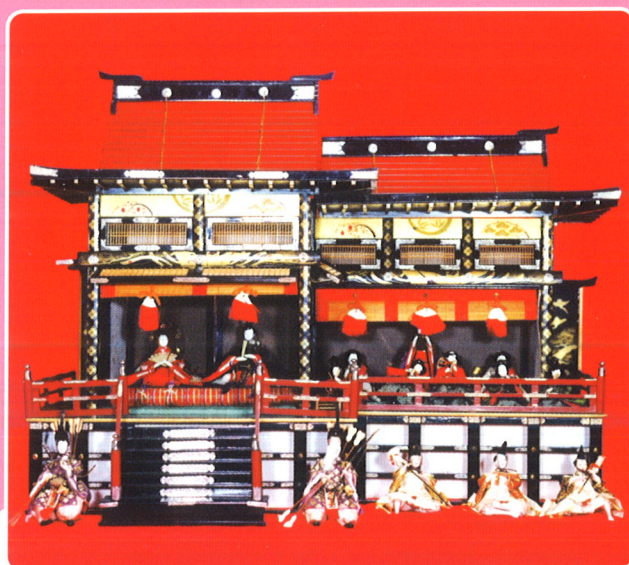
～おひなさん集まれ～

2010年1月9日(土)～
3月7日(日)

体験教室

わらぞうりを作ろう

2月7日(日) 午後1時～4時
定員15名 参加無料
電話でお申し込みください



市民歴史大学

「古墳時代の幕開け」

1月10日(日) 午後1時30分～
澤田秀実氏(くらしき作陽大学准教授)
「前方後円墳の成立過程」

2月13日(土) 午後1時30分～
森下章司氏(大手前大学准教授)
「古墳に納められた品々」

定員90名 参加無料 申し込み不要

交通: JR大和路線高井田駅から徒歩5分
近鉄大阪線河内国分駅から徒歩15分

大阪府柏原市高井田1598-1
電話 072-976-3430

柏原市立歴史資料館

休館日 月曜日
開館時間 9時30分～16時30分
入館料 無料



～おひなさん～

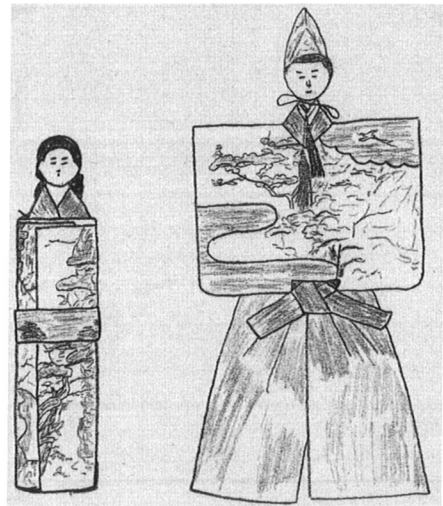
みなさんは、ひな人形にんぎょうのことをなんと呼びますか？「おひなさま」「おひなさん」「ひな人形」。いろいろな呼びかたがありますが、ここでは、したしみをこめて「おひなさん」と呼びたいと思います。

それでは、おひなさんは、どうしておひなさんというのでしょうか？そして、いつごろからかざられるようになったのでしょうか。そのひみつについて考えてみたいと思います。

まず、「ひな」とは小さいかわいらしいもののことです。いまでも、ひよこなどのことを「ひな」というのと同じことです。むかし、女の子があそんでいた人形のことを「ひいな（ひな）」と呼んでいたことにはじまります。

それから、じぶんやじぶんのまわりの人におこったいやなこと、こまったことを川に流してしまう行事ぎょうじがむかしからありました。そのときに、紙や木でつくった人の形をしたものを流していました。この行事ぎょうじと、人形にんぎょうあそびがひとつになったのが、ひな人形なのです。だから、いまでもおひなさんを川や海に流しているところもあります。

それでは、あなたのおひなさんは、男の人と女の人をどちらにかざっていますか？このごろでは、男のおひなさんを右（あなたから見て左）、女のおひなさんを左（あなたから見て右）にかざっているところが多いと思います。でも、



100年前までは、その反対だったのです。ヨーロッパなどをまねて、いまのなかたになったのです。

このほかにも、おひなさんにはいろいろなひみつがあります。おひなさんのことをもっとよく知って、あなたのおひなさんをもっとたいせつにしてあげてください。